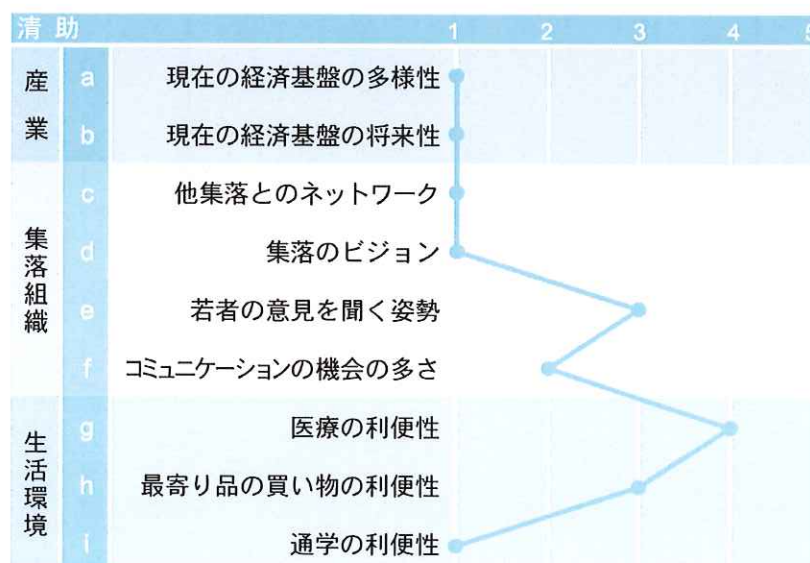


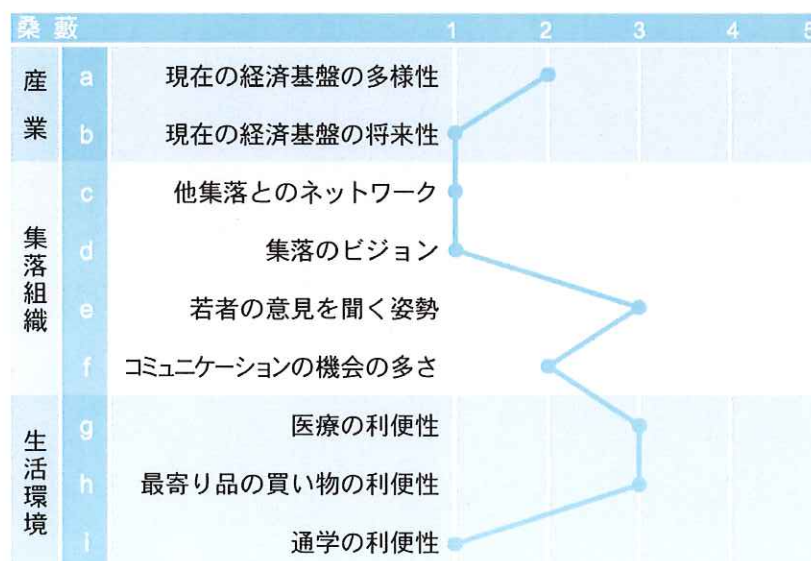
清 助 - seisuke -

産 業	a	現在の経済基盤の多様性 (1点)	林業中心の集落だったので、林業の衰退と共に基幹産業がなくなり、現在はほとんどの住民が年金生活者で、ごく一部の住民が集落外で建設業や製造業に就業しているのみとなっています。
	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)	林業の景気回復が難しい中、農業についてもイノシシの獣害の為、耕地を広げることができず、今後の見通しが立たない状態です。
集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク (1点)	昔は日ノ浦、清助、稲村の3集落で連携がありましたが、現在は高齢化等により、特につながりはありません。
	d	集落のビジョン (1点)	主産業であった林業の衰退や高齢化の進展に歯止めをかけるような、将来に向けたビジョンを主張する雰囲気は特にありません。
	e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)	集落内には現在でも20~40代の住民が数名おり、若者が意見を言う機会もあると思われますが、特に若者の意見を積極的に取り入れるような仕組みはありません。
	f	コミュニケーションの機会の多さ (2点)	住民同士が集まって会を開くことはほとんどなく、集落で集まるのは神祭や道づくりの時のみとなっています。
	g	医療の利便性 (4点)	週2回、町の運行している患者バスがあり、車を持たない世帯については、このバスがあるおかげで生活していける面があります。
生 活 環 境	h	最寄り品の買い物の利便性 (3点)	週3~5回、それぞれ別の移動スーパーが来ており、最寄り品の買い物には不便していません(やや回数が過剰気味との声もあります)。
	i	通学の利便性 (1点)	集落内には中学生と高校生がそれぞれ1名おり、親が毎日送り迎えをしています。



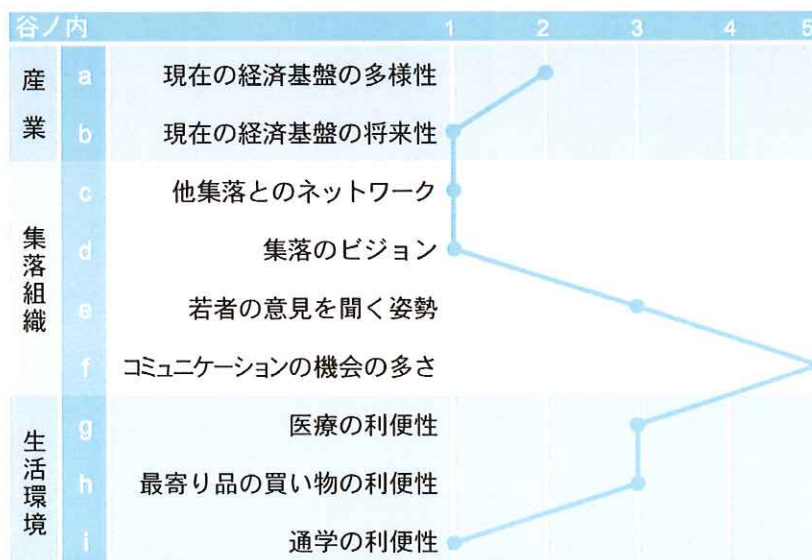
桑 藪 -kuyabu-

産	a	現在の経済基盤の多様性 (2点)
	比較的若い世代は、主に集落外の建設会社に勤めています。農業については、少数の専業農家を除いて、勤め人が退職後家庭菜園として耕作する程度に留まっています。	
業	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)
	経済基盤の中心が公共土木を頼りとした建設業であるため、今後の公共事業削減によって非常に苦しい状態に陥ることが予想されます。	
集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク (1点)
	地理的条件から、他集落と離れた場所に位置しており、他集落との連携は特に見られません。	
	d	集落のビジョン (1点)
	建設業の景気が悪く、先行き不安な状態にあります。それに対する対策やUターン者の受け入れ等のビジョンは今のところ持っていません。	
	e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)
生 活 環 境	f	コミュニケーションの機会の多さ (2点)
	特にコミュニケーションの場は設けられていません。	
	g	医療の利便性 (3点)
生 活 環 境	患者バスが週に1回運行されており、町内では平均的なサービスが提供されていると言えます。他集落とほぼ同様のサービスが受けられると言えます。	
	h	最寄り品の買い物の利便性 (3点)
	移動スーパーが週に2回来ています。	
生 活 環 境	i	通学の利便性 (1点)
	統廃合により学校までの距離がかなりあり、通学は不便となっていますが、現在は集落から通学している生徒はいません。	



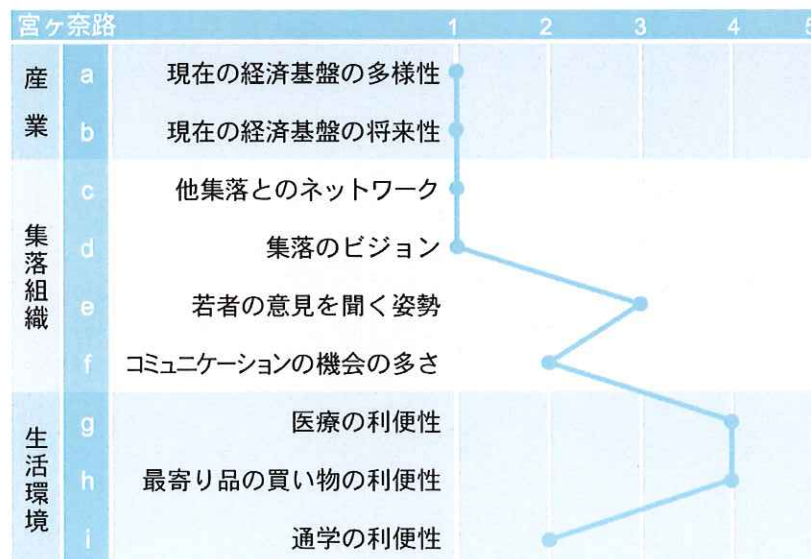
谷ノ内 -taninouchi-

産 業	a	現在の経済基盤の多様性 (2点)	高齢化が進み、主に自給目的で農業を行っています。販売については、週1回、越知町役場前の店舗で野菜や加工品(お寿司等)の直販を行っていますが、それだけで生計を立てていけるほどの収入はありません。	
	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)	集落内の耕作放棄地が増加しており、今後、新たに農業に取り組むための基盤が失われつつあります。	
	集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク (1点)	集落の位置している場所が地理的に周辺集落から離れていることもあって、連携は今のところ見られませんが。
		d	集落のビジョン (1点)	高齢者を中心とした住民が楽しく暮らしていくための取り組みは精力的に行っているものの、次の世代に直接つながる前向きなビジョンはあまり聞かれませんでした。
		e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)	集落にはリーダーがおり、地域活動に積極的に取り組んでいるため、若者の意見を聞く姿勢もあると思われます。しかし、現在のところ、高齢化が進み若者が集落にいないため、そのような機会はありません。
		f	コミュニケーションの機会の多さ (5点)	屋根付きゲートボール場には365日、ほとんど休むことなく10名以上の住民が集まってゲートボールを楽しんでおり、コミュニケーションの場となっています。また、週1回、野菜や加工品の直販を役場前で行っており、集落外の人とのコミュニケーションを取る機会も持っています。さらに、年に1回、外に出ている集落出身者を集めて花見も行っています。
生 活 環 境	g	医療の利便性 (3点)	民間の病院が運行している患者バスが週に2回来ていますが、歯医者については越知町の市街地まで車でいく必要があり、不便を感じています。	
	h	最寄り品の買い物の利便性 (3点)	週3~5回、それぞれ別の移動スーパーが来てくれているほか、集落には商店が1軒あります。	
	i	通学の利便性 (1点)	地元の小学校(片岡小学校)が休校となり、中心部の越知小・中学校に通わなければならないため、かなりの通学距離となりますが、スクールバスが運行されることとなっています。	



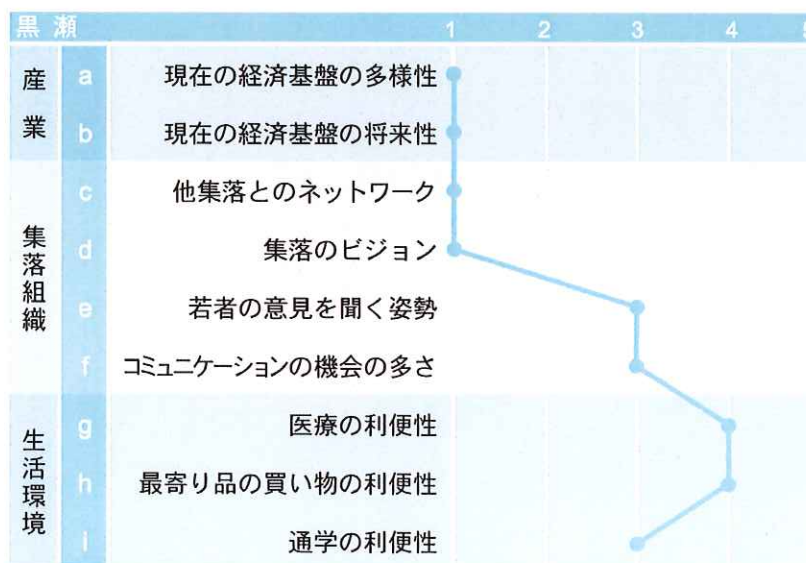
宮ヶ奈路 -miyaganaro-

産	a	現在の経済基盤の多様性 (1点)
	高齢化の進展等により、農業で生計を立てている人はいないため、公共土木に大きく依存した建設業を中心とする産業構造となっています。	
業	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)
	公共事業費削減の傾向から、公共土木に依存した産業の将来性は乏しいと言えます。	
集	c	他集落とのネットワーク (1点)
	国道 194 号線に集落が面していることもあり、伊野町や高知市とのつながりが強く、さらに、校区が町外(伊野町、吾北村)に属してきたことから、越知町内の集落とのネットワークは非常に希薄なものになっています。	
落	d	集落のビジョン (1点)
	現時点では、特に今後のビジョンについては描かれていない。	
組	e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)
	特別な取り組みは見られないが、若者の意見を聞く姿勢が無いとは言えません。	
織	f	コミュニケーションの機会の多さ (2点)
	特にコミュニケーションの機会は設けられていません。他集落に見られる高齢者同士の付き合いも希薄です。	
生	g	医療の利便性 (4点)
	民間企業による通院治療用のバスがあるだけでなく、他の町の医療機関を比較的利用しやすいと考えられます。	
活	h	最寄り品の買い物の利便性 (4点)
	伊野町のスーパー等を利用しやすいため。	
環	i	通学の利便性 (2点)
	学校までの距離が比較的遠く、親が送迎する必要があります。	
境		



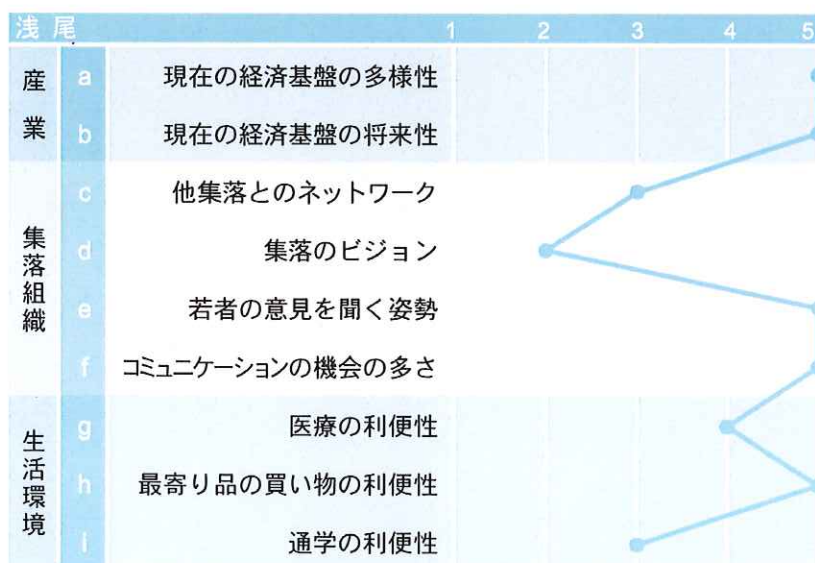
黒瀬 -kurose-

産 業	a	現在の経済基盤の多様性 (1点)	集落内にある建設会社に依存する形で主に公共土木による建設業で生計を立てています。農業については水害の影響で耕地が開拓されなかったため、自給程度の規模しかありません。
	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)	頼みの綱の公共土木が年々減少傾向となっており、先が見えない状態となっています。
集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク (1点)	集落の住民は全て血縁者で構成されており、集落内の結束が硬く、他集落との連携は特に取っていません。
	d	集落のビジョン (1点)	雇用の場となっている建設会社を集落全体で盛り立てていこうという気運は見られますが、建設業の景気不振は今後も続くものと考えられることから、新たなビジョンの展開が必要と思われます。
	e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)	集落が血縁関係者のみで形成されていることから、若者の意見を聞き入れる姿勢は一定、あるものと思われます。
生 活 環 境	f	コミュニケーションの機会の多さ (3点)	神祭をはじめとする集落内の行事にはほとんどの世帯が参加しており、集落行事を中心としたコミュニケーションがなされていますが、高齢化が進み、住民が家の外に出る機会が減ってきています。
	g	医療の利便性 (4点)	民間の病院が運行している患者バスが週に 2 回来ており、車を運転できない高齢者でも通院が可能となっています。また、越知町の市街地までの道が橋やトンネルの開通により便利になったので、車があれば、通院も容易です。
	h	最寄り品の買い物の利便性 (4点)	鎌井田大橋や浅尾トンネルの開通により、越知町の中心街まで 20 分程度で行けるようになったことから、買い物の便は良くなりました。また、移動スーパーも他の集落に比べれば頻度は少ないものの、集落を訪れています。
	i	通学の利便性 (3点)	越知小・中学校についてはスクールバスが運行されているが、高校生以上については送り迎えが必要な場合があります。中には、子供の通学のことが主な理由となって集落を出ていった世帯の例もあります。



浅尾 - a s o -

産 業	a	現在の経済基盤の多様性 (5点)	越知町の市街地まで車で 10 分という立地条件の良さにより、交通の便が良く、市街地へ通勤することが容易です。また、加工品の取り組みをしている専業農家や年金農家を中心に農業の基盤がある程度保たれており、就農も可能と考えられます。
	b	現在の経済基盤の将来性(5点)	遠くは高知市まで通勤圏内と捉えることができ、農業についても独自の取り組みをしている農家の存在があることから、時代の潮流に合わせた職業の選択が今後も可能と考えます。
集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク(3点)	明治地区としてのまとまりがあり、地域の運動会等を通じた他集落との交流はあるものの、普段から密に連携して何か活動をしているようなことは特に見受けられません。
	d	集落のビジョン(2点)	現在、集落が良い状態であることから、今後もこのまま進んでいけば、一定の人口維持は可能であるとの認識があり、特にはっきりした集落のビジョンは持っていない状態です。
	e	若者の意見を聞く姿勢(5点)	現在、40 代の若い区長が中心となって、集落内の若者の意見を吸収し、集落行事などに活かす仕組みができています。
	f	コミュニケーションの機会の多さ(5点)	神祭や花見といった集落行事が年間通して数多く開催されているほか、学校の PTA 活動が盛んで、保護者を中心とした交流が活発となっています。
生 活 環 境	g	医療の利便性(4点)	病院のある市街地まで近いことから、自家用車による通院の便はよいのですが、町の患者バスの運行はありません。
	h	最寄り品の買い物の利便性(5点)	越知町の市街地まで近いほか、移動スーパーも若干来ています。
	i	通学の利便性(3点)	黒石小学校、明治中学校へ徒歩で数kmの道を通っていますが、親の送り迎えは通常必要ありません。



佐之国 - sanokuni -

産 業	a	現在の経済基盤の多様性 (1点)	現在全ての世帯が年金暮らしをしており、年金と生きがいがかねた農業を営んで暮らしています。
	b	現在の経済基盤の将来性 (1点)	昔は水田の多い地区であったが、現在は衰退し、植林しているため、水田や畑として再利用することは難しくなっています。
集 落 組 織	c	他集落とのネットワーク (1点)	学校が統合されてからは、他集落と連携した活動はみられなくなりました。
	d	集落のビジョン (1点)	今、暮らしている人々の楽しみや高齢者のサポートについては考えているようですが、基本的には集落が衰退することを受容しており、現在のところなんらかの手立てを講じることは考えていません。
	e	若者の意見を聞く姿勢 (3点)	近所付き合いが盛んであるため、若者の意見を聞く姿勢はある程度あると思われそうですが、現在集落は高齢者のみとなり、若者と接する機会がなくなっています。
	f	コミュニケーションの機会の多さ (4点)	近所付き合いが盛んで、お年寄は、ほぼ毎日道端等で集まって顔を合わせています。
	g	医療の利便性 (3点)	町の患者バスが週1回来ており、町内の平均的なサービスが提供されていると言えます。
生 活 環 境	h	最寄り品の買い物の利便性 (2点)	週に1回移動スーパーが来ていますが、他の集落と比べると頻度が少ない方となっています。
	i	通学の利便性 (1点)	近隣集落に学校がなく、越知の中心地まで通学しなければならないため不便ですが、現在は集落に生徒はいません。

